

第8期計画 基本目標1 お互いにつながり支え合える

1 地域包括支援センターの再編

①14エリアへの地域包括支援センターの設置・再編

指標の推移				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
地域包括支援センターの設置数	12か所	14か所	14か所	14か所
相談件数	26,781件	45,594件	47,443件	46,000件

2 地域包括支援センターの運営

①地域包括支援センターの適切な運営及び評価

地域包括支援センターの適切な運営及び評価については、平成28年度(2016年度)から業務評価を実施しており、運営協議会による定期的な点検・評価を踏まえて適切な運営に努めてきました。

今後も定期的に評価項目等の見直しを行い、事業評価を通じた地域包括支援センターの機能強化を図ります。

②地域ケア会議の推進

指標の推移				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
地域ケア会議の開催回数	74回	84回	88回	70回

3 高齢者の生活支援体制整備の推進

①生活支援コーディネーターの配置及び協議体の設置

指標の推移				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
第1層協議体設置数	1か所	1か所	1か所	1か所
第2層協議体設置数	2か所	6か所	6か所	32か所

第8期計画 基本目標2 健康にいきいきと自立した生活を送る

1 介護予防・生活支援サービス事業の取組の推進

①訪問型サービスの展開

指標の推移				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
訪問型サービスA 延べ利用者数	3,128人	3,521人	3,443人	3,108人
訪問型サービスB 延べ利用者数	54人	101人	146人	220人
訪問型サービスC 延べ利用者数※	—	1人	2人	

(※前計画では指標として設定していなかったもの)

②通所型サービスの展開

指標の推移				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
利用人数	666人	1,054人	931人※	1513人

※通所B実利用者と通所C実利用者の合計

③介護予防ケアマネジメントの展開

指標の推移	
ケアプラン個別 面談	令和5年度(2023年度)においては、ケアプラン点検後のアンケートにおいて、ケアプランの見直しを「実施する」「実施するか検討する」と9割のケアマネジャーから回答をいただいております。自立支援に向けたケアマネジメントの支援を実施できました。

(その他) 栄養改善型配食の実施

指標の推移				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
利用人数※	—	119人	120人	

(※前計画では指標として設定していなかったもの)

2 一般介護予防事業の推進

①住民主体による介護予防活動の推進

指標の推移				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
通いの場の整備数 ※1	80か所	118か所	184か所 ※2	

(※1前計画では指標として設定していなかったもの)

(※2コミュニティデイハウス、街かどデイハウス、元気！いばらきマップ掲載数の合計)

②地域リハビリテーション活動支援事業の展開

指標の推移				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
事業の利用人数 ※1	148人	365人	832人 ※2	

(※1前計画では指標として設定していなかったもの)

(※2リハ職同行訪問事業延利用者と管理栄養士同行訪問事業延利用者数の合計)

③介護予防教室等の見直しと新たな展開

指標の推移				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
介護予防教室の 延べ利用人数※	7,457人	10,665人	12,763人	

(※前計画では指標として設定していなかったもの)

④地域での介護予防の取組の周知・啓発

指標の推移				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
元気！いばらきマ ップ掲載個所数※	59か所	97か所	164か所	150か所

(※前計画では指標として設定していなかったもの)

⑤はつらつ出張講座による支援

指標の推移※				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
講座開催数	85回	194回	316回	
利用人数	1,374人	3,514人	5,518人	

(※前計画では指標として設定していなかったもの)

⑥シニアいきいき活動ポイント事業の実施

シニアいきいき活動ポイント事業については、コロナ禍の終息とともに地域での活動は再開しておりますが、高齢者施設等での活動の再開は困難であり、登録者数が減少しましたが、登録者対象の新たな講座・講習を企画し、活動が継続していくための支援を実施しました。今後も継続して実施し、高齢者の社会参加及び介護予防の促進に努めます。

また、現登録者の活動を支援するとともに、新たな登録者の拡大や登録者がより活動の幅を広げて新たな担い手として地域で活動ができるように努めます。

3 高齢者の保健事業と介護予防事業等との一体的な実施

①専門職による通いの場でのポピュレーションアプローチ

指標の推移※				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
実施した通いの 場数	11か所	75か所	73か所	
参加人数(累 計)	244人	1,801人	3,176人	

(※前計画では指標として設定していなかったもの)

(その他) 高齢者に対する個別的支援(ハイリスクアプローチ)

指標の推移				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
保健指導 実施人数(実) ※1	114人	39人 (※2)	54人	

(※1 前計画では指標として設定していなかったもの)

(※2 取組区分の変更による減少)

4 要介護高齢者等の自立・家族介護等への支援の推進

①高齢者福祉タクシー料金助成事業

指標の推移				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
利用人数	2,085人	2,202人	2,284人	2,150人

②高齢者紙おむつ等支給事業

指標の推移				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
利用人数	301人	303人	320人	260人

③高齢者ごいっしょサービス事業

指標の推移				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
利用人数	22人	24人	21人	65人

④ひとり暮らし高齢者等日常生活支援事業（ちょこっとサービス）

指標の推移				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
利用人数※	46人	59人	54人	

(※前計画では指標として設定していなかったもの)

第8期計画 基本目標3 “憩える・活躍できる” 場をつくる

1 地域活動・社会参加の促進

①高齢者活動支援センター各種事業の実施

指標の推移				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
高齢者いきがい ワーカーズ支援 事業※	6件	6件	6件	14件

※事業立ち上げ累計件数

2 身近な「居場所」の整備

①街かどデイハウス事業とコミュニティデイハウス事業の実施

③住民主体の「身近な居場所」に対する持続可能な運営支援

指標の推移				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
コミュニティ デイハウス整備数	18か所	20か所	19か所	21か所
街かどデイ ハウス整備数※	3か所	1か所	1か所	

(※前計画では指標として設定していなかったもの)

②いきいき交流広場の実施

指標の推移				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
いきいき交流広場 整備数	25か所	24か所	23か所	32か所

3 世代間交流の取組

①多世代交流センター事業の実施

指標の推移				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
利用人数	46,697人	72,199人	82,004人	115,000人

②スポーツ・レクリエーション活動を通じた交流の支援

「スポーツ推進計画」に基づき、茨木市老人クラブ連合会が市や追手門学院大学、茨木支援学校等と連携し、誰もが気軽に楽しく取り組めるニュースポーツとして「ボッチャ交流大会」を共催しました。引き続き、幼稚園への訪問など茨木市老人クラブ連合会の世代間交流の取組を支援します。

4 高齢者の「働く場」の創造

①シルバー人材センターの取組

指標の推移				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
登録会員数	1,567人	1,586人	1,660人	1,788人

②高齢者の多様な働き方の創造

高齢者層の増加と生産年齢人口の減少が進んでいますが、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果では、「収入のある仕事をしている」方が主観的健康感ならびに幸福感が高い傾向にあります。

生活支援体制整備事業の第1層協議体に参画する団体・企業等に対して、就労による社会参加が持つ意義や心身への影響などについて、学ぶ機会を設けました。

今後は、働き手不足の解消と高齢者の生きがいを両立させるために、就労を通じた新たな社会貢献の創出について取組を進めていく必要があります。

第8計画 基本目標4 一人ひとりの権利が尊重される

1 認知症施策の推進（認知症施策推進大綱の推進）

「認知症高齢者等にやさしい地域づくり」の実現に向けて、「認知症施策推進大綱」の5つの柱に沿って取組を進めています。

①普及啓発・本人発信支援

地域団体、企業、学校等で広く認知症サポーター養成講座を開催し、認知症を正しく理解する認知症サポーターを養成しています。また、世界アルツハイマー月間（9月）を利用し啓発イベント等を開催しました。日ごろから認知症に関して身近に感じ、自身の健康に関心がある市民は積極的に情報収集イベントに参加していますが、より多くの市民の関心を高めるための啓発方法が課題です。

本人ミーティングを定期的実施し、認知症の人同士が出会い、語り合える場をつくることができました。

②予防

運動不足の改善、糖尿病や高血圧症等の生活習慣病の予防、社会参加による社会的孤立の解消や役割の保持等、認知症予防に資する可能性が示唆される取組として、地域の高齢者が身近に通える場での介護予防事業や、保健師、栄養士等の専門職による生活習慣病予防のための健康教育や保健指導を実施しています。

高齢者への保健事業と介護予防事業を一体的に実施していくように、実践者が連携する体制をつくっていく必要があります。

③医療・ケア・介護サービス・介護者への支援

認知症の疑いがある人および認知症の人やその家族に対して、認知症初期集中支援チーム（チーム・オレンジいばらき）、認知症地域支援推進員、地域包括支援センター等が相談に対応しています。認知症初期集中支援チームでは、認知症の初期と思われる人を中心に家庭訪問等も含め相談に応じ、医療や介護サービスなど必要な支援につなげるために活動しています。

医療従事者、介護従事者等の認知症対応力向上の促進のため、研修を実施しています。

地域では、認知症カフェ（いばらきオレンジかふえ）の開設を推進し、認知症の人やその家族、地域の人等誰もが安心して過ごせる場所の提供に努めています。認知症の人やその家族の利用が少ないため、利用を増やしていくことが今後の課題です。

家族教室を継続的に開催し、介護者の負担軽減に努めています。継続的に教室に参加する家族も見られます。

④認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援

認知症の人やその家族が安心して地域で生活できるように、認知症高齢者見守り事業（茨木童子見守りシール）や行方不明高齢者等搜索支援事業（いばらき版みんなでさがそうSOS事業）の実施及び周知に取り組んでいます。いずれも引き続き周知が必要です。

若年性認知症の人向けの支援については、認知症ケアパスや市ホームページより相談窓口の案内に努めています。

チームオレンジの整備に当たり、認知症サポーターにステップアップ講座を実施しました。認知症サポーターと認知症の人をつなぐ具体的な取組を実施することが今後の課題です。

⑤研究開発・産業促進・国際展開

認知症の予防法やリハビリテーションモデル、国による研究開発やロボット技術やICT技術の活用法など、認知症の人の自立支援への活用や介護者の負担軽減が期待される情報について収集に努めています。

指標の推移				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
認知症サポーター 養成講座受講者数 (累計)	23,064人	24,225人	25,052人	27,000人
認知症カフェ登録数	23か所	24か所	24か所	30か所
認知症対応力向上研 修実施回数	4回	3回	4回	5回
認知症の人の家族向 け介護教室実施回数	14回	13回	14回	11回

2 虐待防止対策の推進

①高齢者虐待防止及び啓発への取組

高齢者への虐待防止に向けて、障害者・高齢者虐待防止ネットワークにおいて意見交換及び研修を実施するとともに、市内を運行する公共バスを利用して、ラッピングバスを走行させ、相談・通報の協力を市民に呼びかけました。

②虐待への対応

虐待や虐待の疑いがあることを把握した場合の対応については、地域包括支援センター等と連携し、訪問調査や支援策の検討を行い、迅速な対応に努めています。

しかし、虐待発生には、様々な要因が根底にあるため早期解消が困難な場合も多く、様々な機関と連携しながら、対象世帯の状況に応じた解決策の提案や制度利用の働きかけを行い、時には高齢者の身の安全を確保するための緊急一時保護を行う等、細やかな対応を心がけています。

また、介護施設従事者等による高齢者虐待については、事実確認を行った後、虐待を受けた本人の保護を含め、大阪府や市内関係各課と連携し、介護施設等に助言や指導を行っています。

3 権利擁護の推進

①高齢者権利擁護事業の推進

成年後見制度利用の必要性があるにもかかわらず、審判の申立てができない高齢者等について市長が申立てを行うことで、その人らしい生活を送ることができるよう支援しました。

また、成年後見制度の利用促進を図るため、成年後見審判の申立てに要する費用、成年後見人等に支払う報酬の助成を行いました。引き続き制度の周知、費用等の助成を行うことで、制度の利用支援を推進します。

第8期計画 基本目標5 安全・安心で必要な情報が活かされる

1 災害時に求められる医療・介護サービスの継続

①災害時における支援体制の強化

指標の推移				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
要配慮者避難施設の数	62か所	66か所	68か所	65か所

2 情報公表制度の推進

①事業者情報の公表

指標の推移				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
「いばらきほっとナビ」 月平均アクセス件数	6,869件	6,981件	10,870件	10,000件

3 安心して暮らせる環境の充実

①緊急通報装置設置事業

指標の推移				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
設置件数※	656件	662件	662件	

(※前計画では指標として設定していなかったもの)

②ひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯の見守り体制の推進

ひとり暮らし高齢者等に対して、緊急連絡先及び居住実態等の調査を行い、不測の事態に陥った場合に親族等への連絡が速やかに行えるように、体制の構築に努めています。また、生活支援体制整備事業に係る第1層協議体の参画団体と、「茨木市協力事業者による高齢者見守り事業」の協定を締結するなど見守り体制の推進を図りました。

③高齢者食の自立支援サービス事業

指標の推移				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
利用人数※	476人	247人	190件	

(※前計画では指標として設定していなかったもの)

4 高齢者の居住の安定に係る施策

①高齢者世帯家賃助成事業

指標の推移				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
助成件数※	628件	606件	575件	

(※前計画では指標として設定していなかったもの)

②シルバーハウジング生活援助員派遣事業

指標の推移				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
利用世帯/戸数※	25世帯	25世帯	30世帯	

(※前計画では指標として設定していなかったもの)

③高齢者の居住に関する情報提供

本市に所在する有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅等、高齢者が安心して暮らせる住まいに関する情報を提供しています。

また、利用者が安全・安心な住環境で暮らせるように、有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅に対する指導及び助言等を行っています。

④福祉のまちづくりの推進

市のホームページ等で適宜情報を公開しております。

5 高齢者が安心して暮らせるためのICTの活用推進

①高齢者のICT活用の推進

指標の推移				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
スマホ講座の 開催回数※	38回	0回	0回	
ICT活用を進め ているコミュニテ ィデイハウスの数	17か所	17か所	17か所	15か所

(※前計画では指標として設定していなかったもの)

6 感染症対策に係る体制整備

①感染症対策の介護事業所等との連携・周知啓発・研修・訓練の実施

コロナ禍においては、国・府・市からの感染症対策に関する通知の情報提供に努めました。また、避難者受入人数等の見直しの働きかけや、備蓄品の支援などを行いました。要配慮者避難施設を円滑に設置運営できるように、介護事業所等と連携し体制づくりを進めています。

また、本市に指定・指導権限のある介護事業所に対し、集団指導や運営指導等を実施し、感染症対策の措置を講じるように周知啓発しています。

前計画の基本目標6 社会保障制度の推進に努める

1 介護保険制度の適正・円滑な運営

①充実したサービス提供のための施設整備

指標の推移（8期計画における整備数）※1				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
小規模多機能型 居宅介護	1か所	—	1	3か所
認知症対応型 共同生活介護	2か所	1か所	0	4か所
地域密着型 介護老人福祉施設 入所者生活介護	1か所	1か所	—	2か所

(※1 前計画では指標として設定していなかったもの)

(※2 令和5年(2023年)9月現在、開設に向けて協議中)

②介護保険サービスに対する相談体制の充実

指標の推移※				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
介護相談員数	14人	15人	17人	
訪問件数	40件	111件	326件	

(※前計画では指標として設定していなかったもの)

③共生型サービスの取組

高齢者と障害者が同一事業所でサービスを利用しやすくするための共生型サービスについては、職員の負担や報酬が低いことや、65歳になった場合においてもそれぞれのサービス利用を継続できることから、共生型サービスの必要性が低い状況です。今後も、サービス利用者や事業所からのニーズに応じて、共生型サービスのあり方について検討を進めていきます。

④介護保険サービス提供事業者等への指導・助言等

指標の推移				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
運営指導件数※	129件	120件	128件	

(※前計画では指標として設定していなかったもの)

⑤地域包括ケアシステムを支える人材の確保

指標の推移				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
介護ファンタジスタ 掲載回数※	1回	1回	2回	

(※前計画では指標として設定していなかったもの)

2 介護給付適正化事業の推進（介護給付適正化計画）

①要介護認定の適正化

指標の推移				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
実施状況 (%)	9,298件 (100%)	8,467件 (100%)	10,904件	11,000件 (100%)

②ケアプランの点検

指標の推移				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
実施件数	245件	231件	242件	200件

③住宅改修・福祉用具貸与等の点検

指標の推移				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
住宅改修の点検※1	6件	25件	36件	36件
福祉用具貸与等の点 検※2	1回	1回	1回	1回

(※1 月3回×12か月が目標)

(※2 全件を年1回確認している)

④医療情報との突合・縦覧点検

指標の推移※				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
医療情報との 突合	12件	12件	12件	12件
縦覧点検	12件	12件	12件	12件

(※月1回実施)

⑤介護給付費通知

指標の推移				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
発送件数	2回	2回	2回	2回

3 在宅療養の推進

①地域の医療・介護資源の把握

指標の推移				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
「いばらきほっとナビ」における事業所情報公開数※	—	3,350 事業所	3,481 事業所	

(※前計画では指標として設定していなかったもの)

②在宅医療・介護連携の課題の抽出

高齢者対策・在宅医療委員会などの会議へ出席し、他の専門職の役割を理解することの課題などについて、共有しました。

また、在宅医療・介護連携の現状の把握のため、令和4年度(2022年度)に医療職・居宅介護支援事業所にアンケートを実施し、アンケート結果を基に医療職と介護職でグループワークを行い、他の専門職の役割理解や多職種連携の必要性を確認しました。

③切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

指標の推移※			
項目	令和元年度 (2019年度)	令和4年度 (2022年度)	目標
医療ニーズの高い利用者の受入体制	44.5%	42.3%	50%
看取りの体制の整備状況	46.1%	53.8%	50%

(※市内の介護保険事業者を対象に行った「介護保険事業者調査」)

(※3年に1回の調査であるため令和5年度は未実施。)

④在宅医療・介護連携に関する相談支援

指標の推移				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
市内医療機関との情報共有件数※	52件	37件	34件	

(※前計画では指標として設定していなかったもの)

⑤地域住民への普及啓発

指標の推移				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
出前講座実施件数 ※	0回	5回	0回	

(※前計画では指標として設定していなかったもの)

⑥医療・介護関係者の情報共有の支援

指標の推移				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
はつらつパスポート (連携編) 配布数※	807冊	467冊	配布終了	

(※前計画では指標として設定していなかったもの)

⑦医療・介護関係者の研修

指標の推移				
項目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標
多職種連携研修への 支援数※	0件	2件	2件	

(※前計画では指標として設定していなかったもの)